

製品安全性データー SDS

改訂年月日 平成 28年 8月30日

1.製品名及び会社情報

製品名 スペースシャイン「多用途ワックス」SSFF Spase Shine Floor Finish
一般名 床用ワックス
製造元 米国製 BLAST OFF INTERNATIONAL (ELSCO International ,Inc)
201 ElSCO Blvd Seaboard, NC27876
輸入総発売元会社 オープ・テック株式会社
住所 東京都板橋区成増2-27-8
電話 03-5997-1691
FAX 03-5997-1689

2.危険有害性の要約

物理化学的危険性 金属腐食性物質 :区分 4
健康性に対する有害性 急性毒性(経口) :区分 4
急性毒性(経皮) :区分 4
皮膚腐食性/皮膚刺激性 :区分 3
魚類急性毒性 :区分 4
目に対する重篤な損傷性/目刺激性 :区分 2A
呼吸器感作性または皮膚感作性 :区分 4
吸引性呼吸器有害性 :区分 4

※記載無いものは分類対象外又は分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 :
危険有害性情報

飲み込むと有害性のおそれ
軽度の皮膚刺激
重篤な目の損傷

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量 %	CAS.No.	化審法No.	労働安全衛生法	PRTR法
水	60以上	7732-18-5	—	非該当	非該当
アクリル共重体分散体	8	637744-68-3	—	非該当	非該当
ポリエチレン・ワックス	2以上	9010-77-9	—	非該当	非該当
ビニール共重合体	2以上	67892-91-5	—	非該当	非該当
アクリル溶液	2以上	65405-63-2	—	非該当	非該当
トリビュトクスリン酸塩	0.1	78-51-3	—	非該当	非該当

環境ホルモン疑義物質	原料として使用していません
化学物質管理促進法(PRTR法)規制該当物質	原料として使用していません
シックスクール・シックハウス配慮(VOCの使用)	この製品には、厚生労働省指針値該当13物質成分を原料として使用していません
改正建築基準法における建築内装材の規格	当該法律に言う建築材料には該当しません ホルムアルデヒドを使用していません
学校環境衛生基準該当物質	原料として使用していません

4.応急処置

皮膚 : 石鹼等で充分洗い流す。
目 : 流水で洗い流す10分以上。直ちに医師の診断を受ける。
吸引 : 蒸気を吸いこんで気分が悪くなった場合充分な換気の下で安静にする。
飲み込み : 被災者に意識が有る場合、水をコップ1～2杯飲ませ、吐かせない。口の中を水でよく洗う。
: 被災者に意識が無い場合、口から何も与えてはならない。また吐かせてもならない。
: 安静にして、直ちに医師の診断を受ける。
: 医師の診断を受けること。

5.火災時の処置

消化方法 : 本製品は発火しない。乾燥後は、可燃物なので一瞬でなくなる

6.漏出時の処置

保護具及び緊急時処置 : 作業の際には、手袋・保護眼鏡・マスクを着用する
環境に対する注意事項 : 河川などへ排出され、環境へ影響を起こさせないように十分注意する。
回収方法 : おかぐず・土・砂・ウエスなどの吸着する物で回収する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い : 換気の良い場所で行う
: 保護具(ゴム手袋)を着用する。
: 一度容器から出した液は、元の容器に戻さない。
: 取扱いの都度、容器を密閉する。
保管 : 直射日光を避ける。
: 容器は腐食、割れない物を使用する。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策 : 通常の換気状態で使用する。
眼の保護 : ゴーグル等を使用
保護具 : ゴム手袋を使用する。

9.物理的及び化学的性質(原液の参考値)

物理的状態 : 液体
色 : 乳白色
臭い : 弱い異臭
沸騰点 : 212℃
蒸気圧 : 蒸気圧22mmHg_a68°
比重 : 1.032
ph : 8.0～9.0
水溶解度 : 100%

10.安定性及び反応性

安定性 : 100℃・一般環境下で安定
危険な反応 : なし
避けるべき条件 : なし(凍っても再度解凍すれば使用可能)
: 床面温度が5℃以下は、乾燥しないので避ける
危険有害な分解生成物 : なし

11.有害性情報

急性毒性 (経口) : データー不足のため分類できない。
魚類急性毒性 : データー不足のため分類できない。
急性毒性 (吸引) : データー不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性 : データー不足のため分類できない。
目に対する重篤な損傷性/目刺激性 : データー不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性 : データー不足のため分類できない。
発がん性 : データー不足のため分類できない。
生殖毒性 : データー不足のため分類できない。
特定標的臓器(単回暴露) : データー不足のため分類できない。
特定標的臓器(反復暴露) : データー不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性 : データー不足のため分類できない。

12.環境影響情報

残留性/分解性	:データー不足のため分類できない。
BOD	:データー不足のため分類できない。
COD	:データー不足のため分類できない。
魚毒性	:データー不足のため分類できない。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	:廃液等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。 :容器・機器装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝についても廃棄物の処理 及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託する。
汚染容器・包装	:空容器を廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者と契約をして処理する。

14.輸送上の注意

陸上輸送	:消防法 非危険物
海上輸送	:船舶安全法 非危険物
航空輸送	:航空法の定めに従う
国際規制	

国連分類:該当しない

国連番号:該当しない

15.適用法令

消防法	:該当しない
PRTR法	:該当しない
労働安全衛生法	:該当しない
毒物及び劇物取締法	:該当しない
船舶安全法	:該当しない
航空法	:該当しない

16.その他の情報

GHS対応ガイドライン 社団法人 日本科学工業会

本資料は、資料並びに測定結果などに基ずき一般的な取扱を前提に作成したものです。お客様各位は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱などの実態に応じた適切な処置を、お取り下さるようお願い致します。